

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	社会資本整備総合交付金事業			
予算科目	2 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 下水道課		電話番号(内線): 585	
記入者情報	所属長: 向井 英文		担当責任者: 大塚 直人	
実施期間	【開始年度】平成 27 年度 【開始年度】平成42年度			
事業の対象	市街化区域及び市街化調整区域内の下水道事業認可区域			
事業の必要性	安心して快適な生活が送れるよう、都市および周辺地区の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を確保するために不可欠な事業である。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負		【施工場所】 市街化区域及び市街化調整区域の一部	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	下水道の整備による生活環境の改善及び公共用水域の水質確保			
事業の内容	全体計画区域790.7ha 事業認可区域495.0ha 平成26年度末整備済区域353.7ha			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	0	228,836	67,225	209,797
	人件費	0	6,836	4,021	6,836
	合計	0	235,672	71,246	216,633
人件費 内訳	人工数	0.00	0.85	0.50	0.85
	人件費単価	0	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	6,835	4,021	6,835
財源内訳	国庫支出金	0	61,835	0	57,155
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	145,100	0	126,900
	その他	0	28,737	71,246	32,578
	一般財源	0	0	0	0

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
管渠整備工事		209,797	95,000	140,000	20,000		
処理施設増設工事				100,000	140,000		
年度別事業費		209,797	95,000	240,000	160,000		
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		209,797	95,000	240,000	160,000	
国・県支出金等名称	社会資本整備総合交付金						

成果指標				
成果指標	整備面積366.9ha÷事業認可面積495.0ha			
指標設定の考え方	整備面積が拡大し、下水道処理人口が増加することで区域内の水質保全が図られることから、事業認可区域内の整備状況を把握し効率的な事業進捗に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標42年度
目標	71.5	-	-	100(74.1%)
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	C
		成果向上の可能性	2	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	2	
課題認識	事業計画区域内において集落のまとまった区域を重点的に整備が行えたが、今後は事業計画区域等の見直しが必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	交付金事業の要望に対する内示率が低下したことで、汚水の面整備が事業計画どおり進捗しない状況であり、生活排水処理目標の達成への影響が懸念されるため、公共下水道事業の効率化計画を策定する予定である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業 (二次評価者コメント) 財政状況が非常に厳しい現状であることから、財政部局と十分な協議が必要である。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シートを読んでもさっぱり分からないし、説明を聞いてもよく分からなかった。 ・直接事業費の内訳はシートのどこかに書いてあると思う。 ・事業費及び財源内訳の整合性が取れていない。 ・この交付金が対象になる事業の部分だけ切り出して事業評価しているのだが、下水道事業全体でどうなっているのかが分からない。説明いただいても分かりにくい事業評価シートを一般に開示して分かるのだろうか。 ・管理上はこの単位で管理されているので、交付金事業が適切に行えるかどうかになる。交付金を使うため仕方ないかもしれないが、市民が見ると理解しづらいと感じる。全体的な整備の中でこの部分だというのがあれば分かりやすい。 ・水質確保が目的に挙がっている以上、その目的を達成するために水質に関して何か指標がないといけない。 ・どれだけ整備されているのかは分かるものの、事業目的の水質確保に関して説得的なものが指標にあると思う。 ・浄化センターや浄化槽の問題も一緒にして、浄化システムをどう効率よくやるのか、早期に突き詰めないといけない。
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	